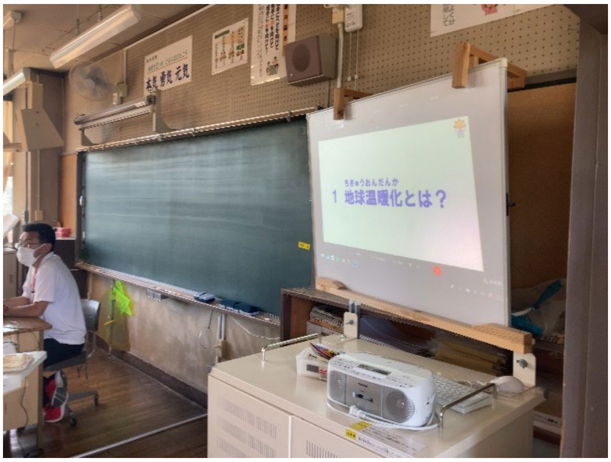
令和５年度　環境活動スタート事業

１　実施校
　　福島市立福島第二小学校（４学年、５学年、６学年）
２　実施日
　　令和５年９月１日（金曜日）

３　内容
　「福島県における気候変動と防災気象情報の利活用」をテーマに、気象庁福島地方気象台調査官の桜井 美菜子氏 による講演会を行いました。地球温暖化の基礎知識、地球温暖化に伴う日本・福島県の気候の変化、防災気象情報の利活用方法など。今、私たちができることは何かを分かりやすく説明しました 。



４　講演を聞いての感想

温室効果ガスのおかげで寒くならずにいれるけれど、この働きがふえすぎると地球温暖化につながるということが、とてもおどろきました。そして、その地球温暖化によりいろいろなえいきょうがあることが分かりました。なので、自分にできることをとりくみ、がんばりたいです。

地球温暖化が進んでいるげんじょうを、今まできちんと知らなかったけれど、本当に今、おこっていることが分かりました。これ以上温暖化を進めないために、私たちができることを探して行動にうつすことも大事だと思いました。そして、天気は身近なものだけれど、温暖化に関係していることにおどろきました。

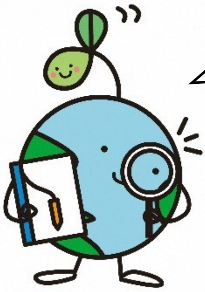
地球温暖化が少しでもならないようにするために、みんなが対策をしたらいいと思いました。小さなことでも地球にはやさしいので、わたしもSDGs努力してがんばりたいです。

地球温暖化は、世界にとてもえいきょうしていることを知った。南極でもホッキョクグマが氷の上で狩りをするのに、その氷がとけてしまって、狩りができないでやせている。そのことにも地球温暖化がつながっているから、自分ができる事をやろうと思った。

地球温暖化についてくわしくしることができて、よかったです。そして、福島の気温が昔より今のほうが高かったことが分かりました。私たちの生活にもかかわる大切な事なんだと思いました。

話をきいて、何もしないより、少しでもCO2をへらすためにがんばる方が良いことが、改めてくわしくわかったので、くらしに工夫をしていきたいです。それに、緩和策や適応策について知ったので、生かしていきたいです。

私は、地球温暖化というものがあることは知っていたのですが、地球温暖化は何が原因でおこるかなどのことがよくわからなかったので、桜井先生のお話を聞いて、温室効果ガスが関係していることや私たちの身近なことにも関係があるということが知れました。そして、地球温暖化にも興味がわきました。



福島県の環境保全の
キャラクター「エコたん」

講演を聞いて、自分にもできそうだと思ったこと、やってみようと思ったことは何かな？また、それを実践してみてどう感じたかな？

・使わないコンセントを抜く！

使わないコンセントを抜くために家中を回ってみると、10か所以上もありとても驚いた。お父さんに「コンセントを抜いておかないと待機電力を使ってしまうぞ」と言われたこともあり、これからはコンセントを抜いて、温室効果ガスの排出量をへらしたいなと思いました。

・グリーンカーテンをもっと育てる。

おばあさんの家に、グリーンカーテンがあるので、もっとたくさん育てたいなと思いました。他にも、グリーンカーテンがあるとすずしく感じるのでとてもよかったです。

・環境学習に取り組む。　・食べ残し削減に取り組む。
・誰もいない教室やトイレの電気を消す。
・雑巾を洗うときはバケツに水をためて洗う。

食べ残しをしないということを考えてみると、毎日家では、兄弟や自分が残した食べ物がたくさんすてられていた。そのため、自分の健康のためにも食べ残しをしないようにしようと思いました。

学校や家のトイレなどの電気を見てみると、家では、毎回消すようにしていて良いのですが、学校のトイレが一日中電気がついていたので、授業の前だれもトイレに入っていない時は、電気を消そうと思いました。

・使わないコンセントを抜く　・ゴミを分別する。　・物を大切にする。
・誰もいない部屋の電気を消す。　・食べ残しをしない。
・見ていないテレビは消す。

使わないコンセントを抜いたり、自分の部屋の電気を使わないときに消し、見ていないときはテレビを消すなどじっさいにできたのでよかったです。私たちも身近な生活の中でできることがあると分かりました。